

**重要なお知らせ**

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、本館関連の催し物について、本コーナーに掲載の情報も含め、急遽、予定を変更する可能性があります。詳細につきましては、決まり次第本館ホームページに掲載いたします。何卒ご理解のほど、お願い申し上げます。

■関連イベント  
ワークショップ  
「ペーパークラフトでテーマボールをつくらう」

カナダの北西海岸先住民の歴史と文化についての解説を聞いた後、本館展示場で実物のテーマボールを観察し、各自が紙を用いてオリジナルのテーマボールを制作します。

日時 5月2日(土)、3日(日・祝)  
13時～15時30分(12時30分受付開始)  
会場 本館第3セミナー室、本館展示場  
講師 田主誠(版画・造形作家)  
岸上伸啓(本館教授(併任))  
対象 小学生以上

(小学3年生以下は保護者同伴)  
※要事前申込(先着順)、定員各回25名、参加費300円、要展示観覧券  
※受付期間 4月2日(木)から

「みんなくSama-Sama(サマ・サマ)塾 プレゼント企画」

みんなくSama-Sama塾塾生によるプレゼント企画。スタン・ラリーを完成させた観覧者に、塾生たちが景品をプレゼントします。

日時 4月25日(土)14時～  
5月24日(日)13時～  
会場 特別展示館  
対象 どなたでも  
(景品が無くなり次第終了)  
※申込不要、参加無料、要特別展示観覧券



彫像 (マレシア オラン・アスリ)

梅棹忠夫生誕100年記念企画展  
「知的生産のフロンティア」

みんなく初代館長を務めた梅棹忠夫が残したアーカイブズ資料とデジタルデータベースをおして、フィールドワークから著作への「知的生産」をくわしく紹介します。

みんなくゼミナール

日時 4月18日(土)13時30分～15時(13時開場)

会場 本館講堂

※申込不要、参加無料

第501回

アイヌ文学の世界——韓・日との比較

講師 北原モコツトウナシ

(北海道大学アイヌ先住民研究センター 准教授)

齋藤玲子(本館 准教授)

アイヌ民族が伝承してきた物語は、登場するキャラクターや語り方などによっていくつものジャンルに分けられてきました。朝鮮半島や日本の物語と比較し、共通点や違いについて考えます。



「世界のはじまりの話」  
絵：小笠原小夜

みんなくウィークエンド・サロン  
研究者と話をう

本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」「調査している地域／国の最新情報」「みんなくへの展示資料」について分かりやすくお話しします。

4月5日(日)14時30分～15時15分 特別展示館  
サーミの工芸品

話者 庄司博史(本館名誉教授)

4月12日(日)14時30分～15時 特別展示館  
ネパールの先住民運動

話者 南真木人(本館 准教授)

4月19日(日)14時30分～15時15分 本館ナビひろば  
台湾原住民運動40年

——「高山書」から移行期正義まで

話者 野林厚志(本館 教授)

4月26日(日)14時30分～15時 本館ナビひろば  
アフリカの先住民について

話者 池谷和信(本館 教授)

※申込不要、参加無料(要特別展示または展示観覧券)

会期 4月23日(木)～6月23日(火)  
会場 本館企画展示場



フィールドノートを内容別に転記したローマ字カード  
(写真撮影 尼川匡志)

ワークショップ  
みんなくおはなし会  
「絵本のなかのほんものを見よう——中央北アジア編」

世界を舞台とする絵本の読み聞かせを行います。絵本を読んだあとは、絵本に登場する生活道具や衣装を、展示場へ探しに行きましょう。

日時 4月19日(日)13時30分～14時30分  
(13時受付開始)  
会場 本館1階エントランスホール  
講師 絵本読み聞かせ・上野恵子(山田駅前図書館 司書)  
展示場解説：大石侑香(本館 特任助教)

対象 小学生向け、希望者はどなたでも参加可(未就学児は保護者同伴)  
定員 20名程度  
※申込不要、参加無料  
(大学生以上は要展示観覧券)

「みて、ふれて、つくって 世界のビーズ」  
アフリカでつくられたビーズ製の帽子や首飾りなどの装飾品にふれたり、カラフルな古紙をつかったペーパービーズづくりを体験できます。

※各イベントについてくわしくは、みんなくホームページをご覧ください。  
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。

巡回展  
「特別展 驚異と怪異——モンスターたちは告げる——」

会期 4月25日(土)～6月14日(日)  
会場 兵庫県立歴史博物館 特別展示室  
休館日 月曜日  
5月4日(月・祝)は開館

主催 兵庫県立歴史博物館 神戸新聞社  
国立民族学博物館 千里文化財団  
兵庫県 兵庫県教育委員会  
NHK神戸放送局  
サンテレビジョン ラジオ関西  
協力 山陽電気鉄道株式会社  
神姫バス株式会社  
特別協力 ライデン国立民族学博物館

刊行物紹介

■鈴木 英明 編著  
『東アジア海域から眺望する世界史——ネットワークと海域』  
明石書店 3,800円(税別)

21世紀に入りグローバル化が進展するなかで、従来の一國史をはじめとする既存の歴史単位に依らない新たな歴史像が模索されている。海を中心とする歴史——海域史——はそのような新たな歴史像構築への貢献を期待され、2000年代以降、歴史学のなかで大きく発展してきた分野である。本書では、その到達点に立ち、海域史研究の新たな可能性をネットワーク論の観点から模索します。



国立民族学博物館友の会 電話 06-6877-8893 (9時～17時、土日祝を除く) FAX 06-6878-3716  
https://www.senri-f.or.jp/minpaku\_associates/ E-mail minpakutomoto@senri-f.or.jp

友の会

友の会講演会

第499回 4月4日(土)13時30分～14時40分

「特別展先住民の宝関連」

テーマボール——カナダ北西海岸先住民の宝

講師 岸上伸啓(本館 教授(併任))

会場 本館第5セミナー室(当日先着96名)

※会員無料(会員証提示)、一般500円

※講演会終了後、特別展の見学会をおこないます(40分/要会員証もしくは特別展示観覧券)。

第500回 5月9日(土)13時30分～15時

「梅棹忠夫生誕100年記念対談」

知的生産のフロンティアの原点

探検家 梅棹忠夫を語る

話者 石毛直道(本館 第3代館長)、吉田憲司(本館 第6代現館長)

会場 本館講堂(要事前申込/先着450名)

みんなく初代館長 梅棹忠夫は、知的生産的活動において常に新領域を開拓し続けました。知的生産のフロンティアを歩きつづけた梅棹忠夫ですが、研究の根は山からはじまり、その原点は探検にあると述べています。本講演会では、探検家としての梅棹忠夫に焦点を当て、石毛直道第3代館長と吉田憲司第6代現館長の対談をおしてその思想の源をさぐります。

※参加無料  
※講演会終了後、会員限定で懇談会をおこないます。

東京講演会

第129回 4月29日(水・祝)13時30分～14時40分

アンデス高地の教会に集つ人びとと祭りのすがた

講師 八木百合子(本館 助教)

会場 モンベル御徒町店4Fサロン(要事前申込/先着60名)

南米ペルーの山岳地帯には、キリストや聖母を祀る数々の聖地が存在します。祭典の時期には、聖地の教会を指して大勢の人が集まり、さまざまなお祭りがおこなわれます。聖地の名声が高まり、巡礼者の数が増えるにつれて、祭りの様相やそのあり方も大きく変化してきました。本講演では、祭礼を支える仕組みを紐解きながら、現代のアンデスの祭りのすがたについて紹介します。

※友の会 モンベル会員無料(会員証提示)、一般500円  
※講演会終了後、講師を囲んで懇談会をおこないます(40分)。

日時 4月24日(金)、25日(土)  
10時～17時(16時30分受付終了)  
会場 本館1階エントランスホール  
対象 どなたでも  
※申込不要、参加無料

みんなく春の遠足 校外学習事前見学&ガイダンス

春の遠足、校外学習にむけて、事前見学会に来館される学校団体の先生方を対象としたガイダンスを開催します。

日時 4月6日(月)、7日(火)  
14時～16時30分  
(13時50分～16時受付)

会場 本館第5セミナー室

※参加無料

ホームページから参加申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、FAXにてお送りください。

お申し込み・お問い合わせ先

国立民族学博物館案内所

電話 06・6878・8341

(10時～17時)

Fax 06・6878・8441

●みんなく無料シャトルバスのご案内  
大阪モノレール「万博記念公園駅」とみんなくの間の直通送迎バスを特別展「先住民の宝」の会期中に運行します。

運行日 会期中の土曜・日曜・祝日  
1日11往復、所要時間10分、無料  
連休日 平日、4月25日(土)、4月26日(日)、4月29日(水・祝)、5月2日(土)

※万博記念公園でイベントが開催される場合は臨時に運休することがあります。詳細はみんなくホームページをご覧ください。

